

【2023年度】児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表年月	2024年2月	事業所名	ハッピーライフきたおおさか
------	---------	------	---------------

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動スペースを十分に取り、児童が思いっきり体を動かせるようにしている。また、中央で仕切り、静の遊びと動の遊びを分けるように工夫している。	おやつなどの時間は活動室を半分に仕切っています。
	2 職員の配置数は適切である	○		支援の質を確保できるように、職員を配置しています。	反射板などを利用して、死角をなくすように心掛けています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		活動室の段差をなくし、やむを得ず段差のある所には、への字抑えなどを利用し段差をなくすようにしています。	活動室の段差や配線などに引っかからないように工夫していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		日々の清掃を欠かさず行い、児童が安全に過ごせる環境作りを行っています。また、送迎車も毎日清掃を行っています。	窓を開けるなどの換気の時間を多く設けていきます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日の朝礼や打ち合わせ仕事終わりなどに、全職員に周知し都度目標と改善を話し合っています。	どんなに些細な事でも、気づいた事は話し合いを行っていきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート調査を実施し、業務の振り返りを行っています。	職員全員でアンケート調査をもとに話し合いを行っていきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		アンケート調査の結果をホームページにて公開しています。	ホームページにて公開しています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者による外部評価は行っていませんが、社内での各事業所評価は行っています。	事業者内で評価に基づいての話し合いを行っていきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内研修の実施や外部研修などに積極的に参加をし、質の向上に努めています。	全職員に周知し、色々な研修に参加して行きます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		契約時や定期的な面談の中で、ニーズを聞き取り、個別支援計画に反映させています。	職員全員で話し合いを行い、個別支援計画を作成して行きます。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントシートを使用し児童の情報把握に努めています。【Vineland-II】などのツールを利用しています。	児童たちについての話し合いを行って行きます。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		個別支援計画を具体的な内容で検討、作成し計画を基に支援を行っています。	個別支援計画を基にしえんが行われているか、日々、職員同士で話し合いをして行きます。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		日々確認を行い、支援計画に基づいた支援を行っています。	一人一人が案に関する意見を出してもらいます。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		定期的なスタッフで話し合いを行い、活動の案を検討しています。	日々の業務の中で感じた事や思った事を発言していく。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		児童一人一人の興味や特性に応じて活動内容を変更したり、使用する遊具や学習ツールを検討しています。	日々の業務の中で感じた事や思った事を発言していく。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	○		集団活動への参加を軸に個別の活動にも触れ、計画を作成しています。	職員同士の話し合いの時間を多く作って行きます。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		始業前に朝礼を行い、その日の打ち合わせを行っています。	打ち合わせ時にスタッフから色々な意見を出してもらうようにしていきます
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終業時に終礼を行い、その日あった事や気づいたこと、些細な事であっても報告し合っています。	職員、一人一つは発言して頂くようにしていきます。
関係機関や保護者との連携	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		活動終了後、個人の記録を行い共有を図っています。	日々の業務の中で起こった事は職員一人一人がしっかりと記録を取る事を心掛けて行きます。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		児童のモニタリング会議を開催し、目標の達成度、計画の見直しの検討を行っています。	職員全員と話し合いの時間を設けて、しっかりと個別支援計画の見直しを行って行きます。
	21 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		必要に応じて担当者が会議に参加しています。	今後は出来る限りふさわしい者が参加して行きたいと思えます。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		子育て支援センターの職員と密に連携を取っています。	些細な事に置いても連携を取っています。
関係機関や保護者との連携	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	現在はいません。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	現在はいません。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	25		○	地域の保育所などとの交流の機会はなく、現在は実施していません。	イベント参加など、積極的に足を運び交流を深めていきたいと考えています。
	26	○		支援学校へ定期的に出向き、支援内容の情報共有を行っています。	もっと密に入って行きたいと思います。
	27	○		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	今後は出来る限り研修に参加したいと考えています。
	28		○	地域の保育所などとの交流の機会はなく、現在は実施していません。	イベントの参加など、積極的に足を運び交流を深めていきたいと考えています。
	29	○		(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加している	積極的に参加して行こうと考えています。
	30	○		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	職員一人一人が保護者様との関係性を築いていくようにしていきます。
	31		○	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	児童の対応に関する助言や情報共有に力を入れています。
	32	○		運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	必ず同意を得るようにしています。
保護者への説明責任等	33	○		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	同意をして頂いた上でサインを頂いている。
	34	○		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	保護者様との関係性を築くために、積極的にはいっていきたくと思っています。
	35	○		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	事業所内で保護者カフェをもっともっと開催したいと考えています。
	36	○		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	スピーディーに適切な対応が取れるようにしています。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	37	○		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	ホームページや事業所のブログにより、活動の様子や情報発信を行っています。
	38	○		個人情報の取扱いに十分注意している	外部への持ち出しはしないなど、取り扱いには十分注意しています。
	39	○		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	理解しやすい表示や、拡大文字などを使用し、意思疎通を図っています。
	40		○	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	何名かの地域住民を招待する事は行っています。
非常時等の対応	41	○		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	各種マニュアルを作成し周知を図っています。
	42	○		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	消防署立ち合いのもと、定期的な消防訓練を行い、また、消防学習なども併せて行っています。
	43	○		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	契約時や定期的な面談の機会に聞き取りを行っています。
	44	○		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	食物アレルギーに対して、保護者に聞き取りを行い、その都度確認を行いながら、取り除くなどの対応をしています。
	45	○		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	ヒヤリハット事例集を作成し周知しています。
	46	○		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	定期的に社内での虐待防止研修会を開催しています。
	47	○		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	身体拘束に関する説明を保護者様に行っています、必要な児童については個別支援計画に記載しています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。